

ふじのくにユニバーサルデザイン計画策定に際した意見交換テーマ

推進委員会においては、新たな計画の骨子(案)に係る意見のほか、以下の観点での意見をお伺いしたい。

1 コロナ禍とUD

- コロナ禍により、常時のマスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、外出の自粛など日常生活に大きな影響が生じている。
- これらは、「新しい生活様式」として、今後も、コロナの影響が続くことが予想される中で、継続していくと考えられる。
- これまでのところ、コミュニケーションがとりづらくなることによる社会的な孤独・孤立の深刻化や、外出自粛などの行動制限による個人の不満の蓄積、経済的な影響による生活への不安などの問題が生じ、今後も、新たな問題が発生することが予想される。
- 今後、UDに取り組む上で、このようなコロナ禍による社会変化に対応する必要があると思われるが、どのような課題が考えられるか、意見を伺いたい。

2 SDGsとUD

- SDGsは、「誰一人取り残さない」を理念としており、「すべての人のためのデザイン」であるUDとは理念が重なり、具体的な取組においても共通するものがあると考えられる。
- 例えば、県が行った企業に対する調査では、ユニバーサルデザインの取組の必要性は約7割が理解しながらも、実践しているのは約5割であり必要性を理解しながらも、実践につながっていない。
- 一方で、社会的にSDGsの必要性が認識され、企業においてSDGsを積極的に取り入れる動きがあり、SDGsとUDの関係性を訴えることは、企業のUD促進の新たなアプローチになると思われる。
- この他にも、SDGsは、今後、UDを進める上で重要になると思われるが、どのような観点が考えられるか意見を伺いたい。

3 デジタル化とUD

- デジタル化の進展により、通信販売やインターネットバンキング、飲食店の予約など生活者にとって利便性が向上している。
- また、コロナ禍により、社会活動が制限されるなかで、オンライン授業やリモートワークが急速に普及し、首都圏から地方への移住が可能となるなど生活環境が大きく変化しつつある。
- 一方で、パソコン等のデジタル端末の扱いに不慣れで知識も不足し、必要な情報の入手やサービスの利用ができないデジタル弱者の存在が指摘されている。
- このようにデジタル化の進展は、マイナス面を含め生活に大きな変化をもたらすことから、UDにも大きな影響があると考えられるが、今後、UDを進める上で、どのような観点が考えられるか意見を伺いたい。

4 その他

- その他、今後、UDの観点から課題となることなどについて意見を伺いたい。